

英字新聞の読み方 応用編 その6

応用編として個別分野の英文記事を取り上げていますが、今回はスポーツの記事をお届けします。

普段スポーツといえば野球、サッカー、テニス、ゴルフなどの記事が紙面に登場しますが、今年は4年に1度のオリンピックの年でした。ですからあらゆるスポーツ記事が紙面を飾りました。金銀銅のメダル争奪で日本は前回の北京五輪のときよりも多く、史上最多の金7個を含めて全部で38個のメダルを獲得しました。ロンドン五輪 (London Olympics / London Olympic Games) が終了したばかりで、あの時のたくさんの感動がまだ残っています。体操 (gymnastics) やレスリング (wrestling) をはじめ、柔道 (judo)、サッカー (soccer) 競泳 (swimming) などの競技では早々とメダルを獲得し、初めてメダルを取った競技や十数年ぶりのメダルを獲得した競技にも日本人選手が大活躍しました。

スポーツ記事は、各競技のルールを知っているだけで、そこで使われる専門的な語句の意味がより理解できるようになります。記事には勝敗を記録する内容が多いわけですが、ただ単に勝ち負けだけを伝えるのではあまり面白くありません。そこで記者はどのような状態で勝負がついたかを伝えるために書き方を工夫します。結果として記者たちの書くスキルがあがります。後に大記者を生み出す基はスポーツ記者にあるというのが欧米のマスコミ界では定説になってきました。かのニューヨークタイムズ紙の名コラムニストだった故ジェームズ・レストン氏も駆け出しスポーツ記者から育った一人だといわれています。そういうわけで欧米の記者たちはスポーツ記者からキャリアを積んだ人が多いのです。

では、まずオリンピックで日本初の金メダルを獲得した柔道のニュースから読んでいきましょう。

例文 1

Matsumoto win Japan's 1st gold in London

LONDON--Kaori Matsumoto won the gold medal in the women's 57-kilogram division in judo here Monday, bringing Japan its first gold at the London Olympic Games. Matsumoto defeated Corina Caprioriu of Romania in the final, as Caprioriu was disqualified during overtime for making an illegal attack from behind.

ヒント：見出しでは、動詞 win は過去のことも現在形で表します。リード文冒頭にある LONDON は、Dateline と呼ばれるニュース発信地を表す部分です。Date とあるからには日付ですが、以前はここに曜日や日にちを入れていましたが、今ではスペースを稼ぐため発信地名だけになりました。名称はその名残です。日付は本文中にあります。リード文中の bringing からは、カンマの前の文を受けて分詞構文の形で簡潔に説明を加えています。

語句：(見出し) win 勝ち取る、1st gold 初の金メダル

(リード) won 勝ち取った、the women's 57-kilogram division 女子の57キロ級、bringing ~に~をもたらして、the London Olympic Games ロンドン五輪

(第2パラグラフ) defeated 打ち負かした、the final 決勝、as ~なので、was disqualified 失格させられた、during ~の間、overtime 延長戦、an illegal attack 反則攻撃、from behind 背後から

試訳：(見出し) 松本、ロンドン五輪で日本初の金メダル

(リード) ロンドン発—松本薫選手は、女子柔道の57キロ級で金メダルを獲得した、月曜日、それはロンドン五輪で日本に初の金メダルをもたらした。

(第2パラグラフ) 松本選手は、ルーマニアのコリナ・カプリオリウ選手を決勝で破った、カプリオリウ選手は、延長戦で背後から反則攻撃を行ったため、失格になった。